



Weekly Report



北ロータリークラブの歴史に“あなたの足跡を”

佐世保北ロータリークラブ 2009～2010年度 RI 会長 / ジョン・ケニー ガバナー / 高城昭紀

会長/宮崎有恒 幹事/西川正美 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトリアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数46名 出席 32名 欠席 2名 出席免除会員出席 9名 ビジター 1名 出席率 95.35%
 【前々回】会員数46名 出席 32名 メークアップ 2名 出席規定除外 14名 修正出席率 100.00%

《第一回クラブ協議会 ガバナー補佐訪問》

棧 猪一郎 ガバナー補佐



本日は26歳を迎えられた青年クラブの協議会に出席させていただき、久しぶりに、新鮮な気持ちに満たされているところです。活動報告書を拝見し、報告の態様、組織の

改編など漸進の意欲を感じられ、出来れば、グループ内での活動報告書の交換なども必要性を感じたところです。そして、次のクォーターセンチュリーに向けての第一歩であり、クラブの継続性、発展性を確保する重要な年度と位置づけられます。また私事で恐縮ですが、報告書の冒頭に活気のない顔写真を曝しまして申し訳ありません。

私自身は、台所の奥に長年しまいこまれていた梅干し漬けのような存在であったのに、たまたま取り出されて、食卓に上がったようもので、ショッパイ味がするだけで、また元の棚に戻されるだけの存在と自覚致して居りますが、残る三回の訪問にお付き合い頂きご協力をお願い申し上げて冒頭の挨拶といたします。

さて、RI並びに地区ガバナーの方針については、ロータリーの友、マンスリーレターでご承知の通り会員増強、財団寄付リーダーシッププランと、例年に変わりなく、高城ガバナーも、地区方針は示さないとのこと。従って補佐の役割としては、ガバナー事務所への報告と年4回のクラブ訪問となり、いかにも形式的であり、残るはリーダーシッププランを活用し、実効性を高めることにあると考えているものであります。会議の進行上、以上を挨拶として後段の所感のなかで、この考え方を披歴したいと存じます。

クラブ協議会 所感

前段の挨拶に続き、私なりの考え方を申し上げます。

1. 現状の分析

RCと地域社会の関係は希薄になっているのではないかと？例えば私が入会したころは都市農村親睦、雇主従業員、高齢者障害者、委員会等の組織委員会が在って、ターゲットが判然としていたように思います。しかし時代の進展とともに包括的に変化し、高福祉の進展と共に、全ての社会福祉が政府の管掌事項となり、国は成長から成熟に、これからは寧ろ鈍化に向かっていくように感じられてなりません。一方少子高齢化は加速され、国の負担軽減のために中央集権から地方分権への移行が論じられています。廃県置藩等と唱える学者もいます。それらの情勢は、我が佐世保市に有益、有効に働くのでしょうか。市町村合併後の佐世保の人口は約26万6千人、2025年への人口動態比率は74%との数値を採れば、約19万7千人となり、人口構成は逆ピラミッド型になると予想されます。特に、危機感を強調する必要も意図も有りませんが、時の流れに身を任せるだけでは、空虚感が残るだけとの懸念があります。

2. ではどこに向かうロータリー

又、昔話になりますが、私の入会当時には、定款細則に忠実に、学んで後に楽しむ、等と鼓吹されていました。四文字熟語の先憂後楽なども一般的に流布されていました。

今や、職業分類の代表として推挙されたと言う自負もステータスも脳裏の霞となりました。RIが組織の拡大とともに俗化してゆくのは、宗教や他の団体と同じく、歴史的必然かもしれません。地区ターゲットを掲げてはならないと言うに至っては何をかいわんやであると思います。しかし慨嘆してばかりはいられません。私達は佐世保市を基盤とする職業人です。最も経済の中枢を担う人達で組織されているのです。地域社会の動向に関心を高め、情報を収集し、職業情報に結びつける可能性が高いのはロータリークラブだけではないでしょうか？他の団体が覚醒する前に着手すべきです。

3. 提言

RCにはプログラムや会報等のシステムがあります。会員の意識を高めるために、地域情報や、職業情報を採取することです。この情報を第6グループで共有する、つまり卓話内容の情報交換システムです。これには会長幹事会の議題にして頂くも良し、独自の合同委員会を立ち上げるも良し、地域職業情報委員会を立ち上げるも良し、種々の方策が考えられます。是非ご検討ご一考をお願いいたします。例えば、石木ダム の総建設費は如何程か、県市国の負担割合は、償還財源は、～果たして何パーセントの人の関心があるのでしょうか？合併後の農水産物はどの位増加して、仕向け地は何処なのか、農業の後継者の実数は、株式会社としての参入の趨勢は？海水淡水化装置の実現性は、波動発電装置の現実性は一卓話の材料として興味のもてるものです。

日常生活には一寸無縁なもののようですが、孫子の代には何れ選択されて実現するものばかりだと思います。前者は後者のために在る、未来は躊躇しながら近づいてくる、とすれば、知識情報化社会の進化は必然の様に思えてなりません。

何れにせよ、個人の能力、努力を超えるスピードでの地盤沈下を看過することは得策とは言えないでしょう。もとよりロータリーは個の精神集団であると思いますがクラブは、恰も出漁する前の漁師さんみたいなもので、気象情報を交換し、談笑する集会所みたいなものです。そこから地域社会に有用な職業情報を胸に出漁するのではないのでしょうか。ロータリーの綱領をその様に、私は解釈しています。

4. 終草

地区の目標に戻り、会員増強、財団支援、クラブリーダーシッププラン、これらの目標を継続的に達成するためには、時代の進展に合わせてクラブ体質の柔軟な変化が必要不可欠で、情報の豊富など、人が集まり、資金が潤沢になると思います。

日々の職業のなかで、苦しみながら奉仕の理想を追い求めている私達が、クラブにおける実践で成果を上げることができれば、大きな勇気を得て、また自己の職業に還流出来る。此のことが壮大な挑戦であり、職業奉仕の真髄ではないでしょうか。

★各委員長さんからの報告は、2009～2010年度活動計画書をご覧ください。

[illegible]

《會長挨撈》

宮崎有恒 会長

納涼例会に出席された厦門理工学院の学生一行6名は24日帰国されましたが、18日（土）の茶道体験では、村上先生、小西副会長、その奥様方そしてその後の一泊二日のショートスティでは、特に豊島さん宅に4名の学生が宿泊され国際奉仕委員会を始め皆様には大変お疲れさまでした。

19日(日)にはオープンしたばかりの「パールシー」他へ見学へ行き、夕方には無事、高専へお送り届けることができました。

学生の一人、陣さんよりお礼のメールが早速届いて

います。読ませていただくと私も今まで青少年交換委員長等で子供たちのお世話をした経験がありますが、あらためて機会があればお世話をしていきたい気持ちになりました。

先日の韓国仁川仁州RC訪問の時も同じでしたが、人と人とのふれあいを今後も大切にしていきたいと思いをします。

《クラブ協議会 会長挨拶》 宮崎有恒 会長

本日は、猪一郎第6グループガバナー補佐に出席いただき、第1回クラブ協議会です。ご指導の程よろしくお祈りいたします。

ガバナー補佐とは増大し続けるガバナーの責務を軽減するため、1996年RI理事会で「地区リーダーシッププラン」が承認され1997年よりこの「地区リーダーシッププラン」を採択した地区は、複数のガバナー補佐を任命することができ、当地区でも2000年2001年より実施されました。それまでは分区代理という形で当クラブからも村上先生が1990～1991年に、松尾辰二郎さんが1998年～1999年に就任されました。2002～2003年には地区ガバナーが10グループに編成され2003～2004年 故 川又正樹さん、2007～2008年には富田耕司さんがガバナー補佐になられています。

ガバナー補佐はPETSや地区協議会、各クラブの公式訪問に出かけたりと大変重要な職務と認識しております。 棧 猪一郎ガバナー補佐におかれましてもこの一年間お体ご自愛の上ご活躍を祈念し、本日のクラブ協議会 何卒よろしく願いいたします。

[illegible]

《幹事報告》 西川正美 幹事

1. 例会變更

- ・ 佐世保南 R C

8月14日（金）休会（定款第6条第1節）

- ・佐世保西RC

7月28日 (火) 12:30→18:30

ホル万松楼（納涼例会のため）

8月25日（火）12：30→8月23日（日）10：30～

ホテル万松楼（掛屋剛志君コンサートのため）

8月 4日 (火) 休会 (定款第6条第1節)

- ・ 佐世保中央RC

7月30日（木）12：30→8月 1日（土）18：30～

ハーバービュークラブ（納涼例会）

8月13日（木）休会（定款第6条第1節）

- ・佐世保東南RC

8月 5日 (水) 12:30→18:00～

はな一（夜の家族会のため）

8月12日（水）休会（定款第6条第1節）

1. 来 信

・ガバナ一事務所地区大会人頭分担金送金のお願い

①2009～2010年度地区大会のご案内

日 時：10月31日（土）12：30～

(記事担当者 岡井正明)